

# 単元構想シート 【記入例】

〇〇〇 中学校 第 2 学年 単元名「 一次関数 」 全 17 時間

検討

## 重点的に育成を目指す資質・能力

- ・見いだした事柄や、問題解決の方法を説明する際、数学的に表現する。
- ・関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する。

共通理解シートで検討した「育成を目指す資質・能力」と「手立て」について、単元に合わせて整理をします。



## 育成に向けた授業実践で取り組むこと

- ・生徒が目的意識をもつために、思考を整理したり、数学的な表現にしたりすることができるような発問をする。
- ・授業に観察や操作、実験をする場面を取り入れる。
- ・表や式、グラフが表していることの意味を正しく読み取り、説明する場面を設定する。

実践

取り組む内容を単元の流れに沿って具体化し、実践できるようにします。「読み解く力」の視点は、授業に合わせて記述します。



単元	内容	実践
一次関数	DI、Z	見・解決の過程を重視する場面 (「読み解く力」の視点を踏まえた生徒の学ぶ姿から)
一次関数の値の変化	A1	○やかんに入れた水をコンロで沸かす状況から、伴って変わる二つの数量を取り出す場面を設定する。 ・【発見・蓄積】「お湯が沸くまでの時間を知るためには、どのようなことが分かればよいでしょうか。」などの発問から関数関係を見いだす。
一次関数のグラフの利用	B、C	○表や式が表していることの意味を正しく読み取り、説明する場面を設定する。 ・【分析・整理】一次関数の変化の割合に着目して、一次関数 $y=ax+b$ の $a$ と関連付けて一次関数の特徴を見いだす。
	C、DI	○問題解決のために、グラフのどこに着目して、どう読み取ればよいのかについて説明し伝え合う場面を設定する。 ・【再構築】「問題解決をした方法について、グラフのどの部分をどう見たことで解決することができたのか、振り返りましょう。」などの発問をして問題解決の過程を振り返る。

★ 単元を振り返って(適用問題やテストの結果、振り返りの記述等から生徒の変容を見取り、自身の実践で取り組んだ内容を検証しましょう。)

検証

- ・生徒が目的意識をもてるように発問を工夫したことで、主体的に取り組む生徒が増えたと感じる。
- ・説明し伝え合う場面を多くの授業で設定したので、適用問題のときよりも定期テストでは、自分の考えを説明する生徒が増えた。
- ・振り返る際、視点を与えたことで、単元の始めの方では単語でしか記述できなかった生徒が目立っていたが、数学的な表現を用いて記述する生徒が増えた。
- ・数学的な見方・考え方を働かせるために発問が大切であることを感じた。これからの授業でも、生徒が情報を関連付けて整理したり、知識を再構築したりすることができるように発問を考えたい。
- ・文字に具体的な数を代入することで成り立つ事柄を予想したり、問題を解決するための構想や見通しを立てたりすることに時間をかけるようになった。

